

令和2年度会計決算報告 (単位:円)

Table with financial data for FY2020, including income and expenditure sections with columns for budget, actual, and details.

令和2年度活動報告(全体活動)

- (1) 定時役員会(総会)
(2) 会議開催
(3) 役員会
(4) 広報委員会
(5) 活動支援委員会
(6) 福祉ネットワーク会議
(7) 宝塚市まちづくり協議会
(8) 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」
(9) 地域活動

事務局の活動

- ① 広報紙「ゆずり葉だより」の発行
② 宝塚市まちづくり計画「まちづくり計画見直し」作成
③ 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」
④ 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」
⑤ 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」
⑥ 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」
⑦ 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」
⑧ 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」
⑨ 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」

活動支援局の活動

- ① 地域交流事業
② シネマシアター
③ 防災・防犯推進事業
④ 環境美化推進事業
⑤ 宝塚市まちづくり計画に位置付けられた地域事業補助金
⑥ 上記の代替案として、170,000
⑦ 福祉コミュニティ支援事業明細 152,000

書記委員

議事録は詳細に記録して会長に届け、次回役員会で全員に配付した。議事録は、ブログに掲載して永久保存されている。

経理委員

協賛金、「ゆずり葉だより」広告掲載料請求、入金管理及び支払管理、出納は帳票を確保して迅速・正確に行なった。補助金の申請・報告書は、行政マニュアルに従って、説明責任が果たせるよう作成・提出した。

施設委員

活動拠点「ゆずり葉コミュニティルーム」の利用状況は、年度を通してコロナ禍による学校施設の閉鎖と活動の自粛により、延べ173時間/年にとどまり、前年度比63%減となった。午前中の利用は、比較的ゆとりがあるので有効活用を図っていく。

会を行ない、映画を通して親睦を図った。例年なら自治会や老人クラブ、福祉活動委員会などが、桜祭り、夜桜の集い、盆踊り大会、夏祭り、納涼花火大会、文化祭、音楽会、展覧会、絵画展、お茶会、もちつき、収穫祭など活発な事業を行ない、住民の親睦、連帯意識の醸成と文化の高いまちづくりを進めているが、令和2年度はコロナの影響で大規模イベントは、中止となった。

(2)子ども健全育成・三世代交流事業

- ① 子ども・親・高齢者の異世代ふれあいを通じて連帯意識を培うべく、小学生入学生卒業の歓迎会、里山ハイキング&パーベキュー、芋ほり、遊ぼう会など野外で三世代のふれあい事業を実施した。(三密を避け、夏祭りやクリスマス会は中止し、くじ引き会等に切り替えたとこもあつた。)

(6)健康・福祉ネットワーク事業

- ① 令和2年10月4日(日)、福祉ネットワーク会議を社会福祉協議会との共催により、地域20団体の代表者41名の参加で開催し「見守り」をテーマに活発な話し合いを行い、地域福祉推進計画の実行を図った。(P1参照)

(3)防災・防犯推進事業

当校区の高齢化率は45%であるにもかかわらず、介護認定率は17%と低く、健康長寿を誇っている。安全で快適なまちづくりに住民の防災意識の高揚と自主的な防災、防犯運動を展開した。また、育成会児童の見守り同伴下校のボランティア活動への参加の呼びかけを実施し、また児童の登下校時に合わせて、散歩や植木の手入れなど、児童を見守る活動を行なった。

(7)エイジフレンドリーシティに向けて地域活動活性化への取り組み

高齢化が進み、坂の多いベッタタウンである当地は、「高齢者にやさしいまちはある世代にやさしいまちである」という理念のもと、「お互いさまがふれるまちづくり」を目指して地域の公園、花壇、裏山についてロードマップの活用を図り実践活動を行なった。